



せなみっこ

第11号

令和5年1月11日

村上市立
瀬波小学校



瀬波小HP

コミュニケーション能力を育み「夢や目標」に向かってチャンス・チャレンジ・チェンジ!

～卯年は「飛躍」や「向上」の年～

校長 若月 隆雄

令和5年が幕を明けました。明けましておめでとうございます。

今年の干支は「癸卯」(みずのと・う)です。「癸」とは、物事の終わりと始まりを意味する他、「揆(はかる)」という文字の一部であることから「種子が計ることができるほどの大きさになり、春の間近でつぼみが花開く直前である」という意味だといわれています。「卯」はもとも「茂」という字が由来といわれ「春の訪れを感じる」という意味、また、「卯」という字の形が「門が開いている様子」を連想させることから「冬の門が開き、飛び出る」という意味があるとされています。この2つの組み合わせである「癸卯」には、「これまでの努力が花開き、実り始めること」といった縁起のよさを表しているといえそうです。

さて、今の子どもたちは変化の激しい時代と文化の波にもまれながらも、自分らしく「夢や目標」に向かってチャンス・チャレンジ・チェンジしながらたくましく生きて、未来を切り拓いていくこととなります。このように、子どもたちが見知らぬ新たな世界へ飛び出すために必要だといわれているのが「心の安全基地」です。心理学者によれば、絶大な信頼関係・承認関係がつくる心の基地であり、子どもたちの自己肯定感を支え、見知らぬ世界へ飛び出る勇気を与え、そしてまた、他者を信頼し承認する文字通りベースとなる基地となるそうです。

特に、深く信頼・承認されるという経験は、その後の子どもたちの「自己信頼」「自己承認」の、内に根ざした大きな支えとなります。そしてこの「自己信頼」「自己承認」を土台に子どもたちは他者を信頼することと承認することへと開かれていくそうです。

このことから、コミュニケーション能力を育てるためには、親や他者からの深く信頼・承認されるという体験を増やして、子どもに強固な「心の安全基地」をつくるのが大切であるといえます。それが、他者への信頼・承認へと心が開かれ、自他をうまく調整して周囲に合わせて動くことができるコミュニケーション能力へとつながります。コミュニケーション能力は、新たな世界や未来を切り拓く勇気を与え、「夢や目標」に向かってチャンス・チャレンジ・チェンジの原動力なると考えられます。

3学期は、子どもたちを深く信頼・承認することを意識して「心の安全基地」が育まれ、勇気をもって「夢や目標」に向かってチャンス・チャレンジ・チェンジできる子どもとともに、いじめ・差別をしない、許さない「他者を信頼・承認できるやさしいせなみっこ」を目指していきたいと考えています。

保護者の皆様、地域の皆様、本年も瀬波小学校をよろしくお祈り申し上げます。皆様にとって幸が多く増え、繁栄の年になることを心よりお祈り申し上げますとともに、3学期もご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

